

事例Ⅳ

■はじめに

①まずは、答案用紙に受験番号と名前を書く

■基本の公式

売上高利益率＝利益/売上高×100（％）

資産回転率＝売上高/資産（回）

自己資本比率＝自己資本/総資産×100（％）

負債比率＝負債額/自己資本×100（％）

流動比率＝流動資産/流動負債×100（％）

当座比率＝当座資産/流動負債×100（％）

当座資産＝現金・預金＋受取手型＋売掛金＋有価証券

固定費率＝固定資産/自己資本×100（％）

固定長期適合率＝固定資産/（自己資本＋固定負債）×100（％）

損益分岐点売上高＝固定費/（1－変動比率）＝変動費＋固定費

損益分岐点比率＝損益分岐点売上高/実際売上高×100（％）

安全余裕率＝（実際売上高－損益分岐点売上高）/実際売上高×100（％）

数量差異＝（標準数量－実際数量）×標準価格

価格差異＝（標準価格－実際価格）×実際数量

税引後CF＝税引後営業利益＋減価償却費

＝（CIF－COF－減価償却費）×（1－税率）＋減価償却費

FCF＝税引後営業利益＋減価償却費－運転資金増価額－投資額

企業価値＝FCF/加重平均資本コスト

企業価値＝株式価値＋負債価値

定率成長モデル＝1年後の配当金/期待収益率－配当金の成長率

期待値＝カジキ変にプッチョアヘンザ

共分散＝（Aの偏差×Bの偏差×確率）の合計

相関係数＝共分散/（Aの標準偏差×Bの標準偏差）

①経営分析の記述キーワード

- ・収益性

高い：高評価技術力、固定客・人気

低い：丁寧な対応でコスト増、材料の価格高騰、販管費（コスト）増加、一部店舗の業績不振

- ・効率性

高い：顧客評価、物件収入、高品質製品

低い：固定資産増加、収益のない用地取得、取引先依存、古い店舗の集客力低下＝売上減少

- ・安全性

高い：負債が少ない

低い：多額借入による利息負担、在庫増加、負債依存、借入による資金調達・利息

⇒ポイント

- ・安全性が良好なパターンは少ない、借入・負債が多い場合は利息にも十分注目する
- ・顧客からの高評価は数値と照らして、＝売上良好のため、収益性・効率性いずれの要因にもなる
- ・収益性悪化要因の基本はコスト負担増加
- ・効率性悪化要因の基本は有形固定資産の効率性悪化

④独立記述問題の解答ポイント

- ・財務指標への影響、財務的效果が問われたら⇒収益性・効率性・安全性への影響を答える

例：投資の財務影響＝売上向上による収益性改善と資金借入による安全性の悪化

- ・あとは1次知識で対応する

- ・オプション系は

オプション＝為替差損時のみ対応可能、オプションプレミアムがデメリット、コール・プット書く
為替予約＝メリットは為替差損の回避、デメリットは為替差益享受不可